

新しい価値の創造を通じて、豊かな社会づくりに貢献します



2010 CSR報告書 カンボプラス



企業理念

カンボウプラスは
新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりに貢献します。

CSR基本方針

カンボウプラスは、「社会との共生」「お客さまとの共生」「従業員との共生」を目指し、メーカーの責務として、環境に配慮し、お客さまのニーズに応えた安全で高品質な製品の提供を通じて社会に貢献します。

CONTENTS

トップメッセージ	2
社会とのかかわり	3
環境とのかかわり	7
その他のかかわり	9
CSR自己評価	裏表紙

カンボウプラスの概要

代表者	取締役社長 柏田民夫
設立	1939年3月24日
資本金	10億2,030万円
決算月	3月
従業員	200名
主要事業	1. ファイバー（繊維）とプラスチック（樹脂）の複合化によるキャンバスの製造と販売 2. キャンバスをデザイン・設計・縫製した商品の販売 3. 一級建築士事務所 建築物・工作物の設計・施工
事業所	本社、東京支店、福井工場
外部認証	ISO9001、ISO14001

私たちは、産業繊維資材を通して 豊かな社会づくりに貢献します。

カンボウプラス株式会社の2010年版CSR報告書をご覧ください。当社は、持続可能な発展のために、産業繊維への樹脂加工会社として「環境にやさしい」製品を開発・提供して社会に寄与していくことが、重要な使命と考えています。

2009年度は、上場企業の約一割が過去最高益を更新しました。当社は2年連続の経常赤字となっていましたがおかげさんで2009年度に黒字転換を果たすことができました。しかしながら、我々を取り巻く状況は、まだまだ厳しい局面が続いております。

一方最近の報道に

①地球温暖化への対応をめぐり、先進国を中心に推進力がしぼんでいる。

②米国は、温暖化ガスの削減目標に踏み込まない方向に傾いた。日本も欧州の動きも鈍い。

とありましたが、地球温暖化対策で先進国が失速していることは、誠に残念なことだと言わざるを得ません。

以下に今年度の方針および取り組みを記載しました。

■ I.2010年度の方針

(1)カンボウグループの基本方針

- ①品質を最優先させる
- ②お客さまの満足度を高める
- ③利益の最大化を図る

(2)カンボウプラスの重点方針

- ①守りから攻めに転換する
- ②投資の拡大を図る
- ③海外戦略を強化する

をかかげ、前進しております。また、ダイワボウグループとの連携を密にし、特にアジア地域での製販両面での戦略を構築していきます。



■ II.作業環境改善への取り組み

①職場安全 ②保安防災 ③環境保全 ④労働安全 ⑤製品安全 ⑥物流安全

従業員の安全と健康を守るため、上記項目の重要性を認識した事業活動を続けてまいります。

■ III.中期活動へのステップ

(1)リスクマネジメントの確立…ガイドライン ISO31000

企業を取り巻くリスク(災害、製品事故、品質表示偽装、情報漏えい、環境問題、各種法規則違反、倫理違反行為など)は、ますます拡大しています。今や、企業における全社的リスク管理の導入は、国際的潮流とも言えます。そのガイドラインとなる ISO31000(リスクマネジメントの原理原則と指針)に基づき独自のリスク管理体制の構築に取り組みたいと考えています。

(2)CSR(企業の社会的責任)の充実…ガイドライン ISO26000

今後のCSRの方向性を明確にして社会的責任の理解を深めるため、この「世界共通のフレームワーク…ISO26000」を当社のCSRに活用し、企業価値を発展させたいと考えています。

この報告書により当社の活動へのより深いご理解とともに、皆さまからのご意見をいただければ幸いに存じます。

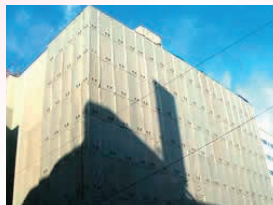
取締役社長

柏田 民夫

当社製品のご紹介

建築資材関連分野

建築用シート、クロス、
幕、素材など



土木資材関連分野

土木用資材、テープ、
各種メッシュなど



農林水産関連分野

水槽、プール、
農業用シートなど



物流・車両・船舶関連分野

幌、カバー、幕、テープ、
各種シートなど



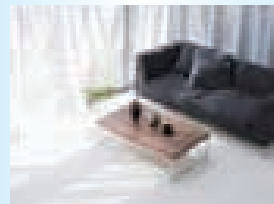
工場関連分野

カバー、テント、緩衝材、
パーティション、各種シートなど



インテリア・生活・食品関連分野

カーテン、ロールスクリーン、
保護材、クロス、各種シートなど



広告関連分野

旗、インクジェットメディア、
看板など



イベント関連分野

エアアーチ、テント、
ぬいぐるみ、各種シートなど



スポーツ関連分野

トランポリン、マット、
ネットなど



環境関連資材分野

防災頭巾、オイルフェンス、
各種カバーなど



防災関連分野

シャッター、袋、マット、カバー、各種シートなど



膜材新商品のご紹介

「ダイナスター」シリーズ

酸化チタン光触媒により表面層を分解し、汚れも共に除去する当社独自のセルフリニューアルシステムによる防汚性能を有する膜材料です。
従来品のダイナスターに加え、新たに不燃膜材料の販売を開始いたしました。

Dynastar (従来品)

テント倉庫用膜材料

国土交通大臣認定番号(建築材料の品質)	MMEM-0027
国土交通大臣認定番号(防火認定)	UW-9017
防災製品認定番号	F-19094

Dynastar B300

不燃膜材料

国土交通大臣認定番号(建築材料の品質)	MMEM-0033
国土交通大臣認定番号(不燃認定)	NM-2577



新規販売品のご紹介

看板用LEDユニット、看板用スリム蛍光灯

看板資材における従来の蛍光灯と比較して、消費電力削減によりCO₂排出量削減効果を持つ照明器具の販売を開始いたしました。

LEDユニット

パナソニック電工(株)製「エバーレッズ」

- ・ワイド配光型LEDユニット
…ファサード看板、構内看板等
- ・ダブル配光型LEDユニット
…大型チャンネル文字看板等

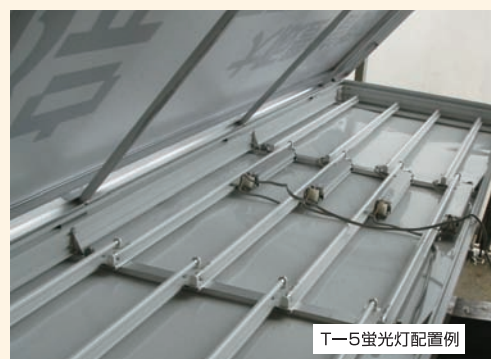


LEDユニット施工事例
ホテルユクエスタ旭橋(沖縄)

スリム蛍光灯 「ルミスリムT-5」

管のサイズが直径15.5mmと、従来蛍光灯の約半分(従来蛍光灯の管直径32.5mm)のスリムな蛍光灯です。

- ・インバータ セパレート、側面取付、裏面取付の1台3役
- ・軽量設計 アルミフレーム
- ・フリー電源 100V~200V対応 50Hz/60Hz対応
- ・防水性 インバータ防滴仕様
- ・高効率 100 lm/W

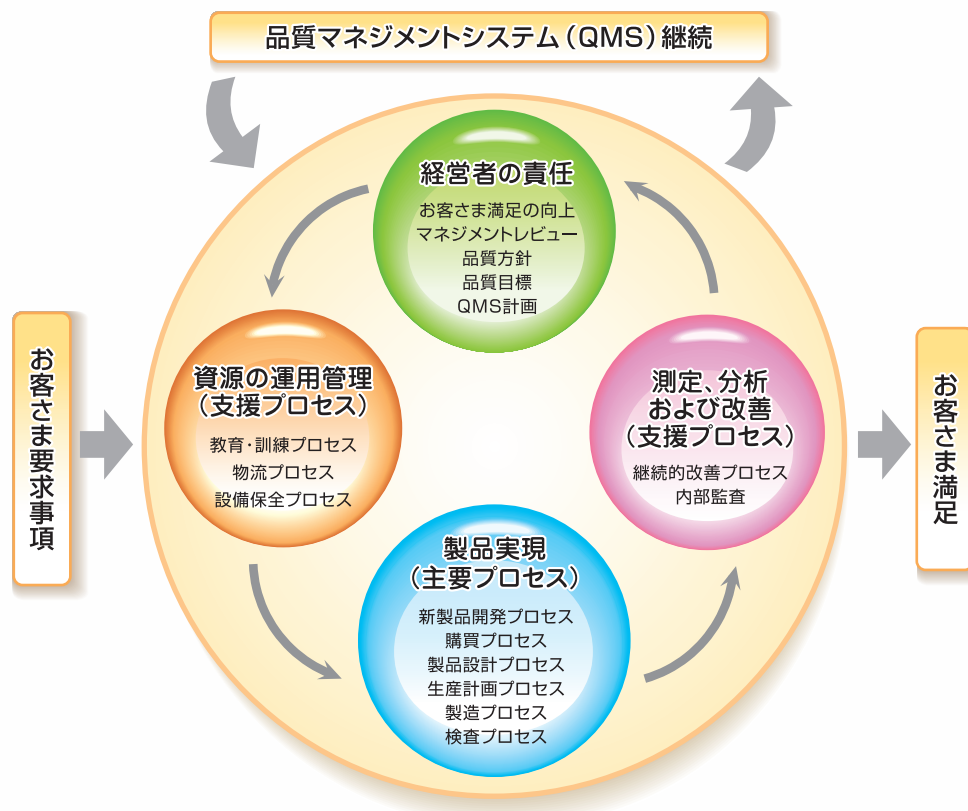


T-5蛍光灯配置例

品質管理について

カンボウプラスの製品は、品質マネジメントシステム (ISO9001) に基づき、設計から製造にいたるまでの各段階において社内審査が設けられており、それらの審査に合格したものをお客さまに提供しています。

品質管理フロー図



相互工程監査

安定した品質の製品をお客さまに提供するため、相互工程監査の仕組みを構築しました。

これは各ラインの加工条件や手順書・指示書の有効性、工程内検査の状況や設備の状態などを他部署の監督職が評価し、不適切な状態があれば直ちに是正するといったやり方です。班長・係長が他部署を評価し、そこで発見した問題点や改善点を速やかに自部署に展開することにより、不良率のさらなる低減を目指します。

揮発性有機化合物への対策

大気汚染防止法の改正により、揮発性有機化合物 (VOC) の排出規制が2006年4月 (適用猶予期間2009年度末) より開始されました。

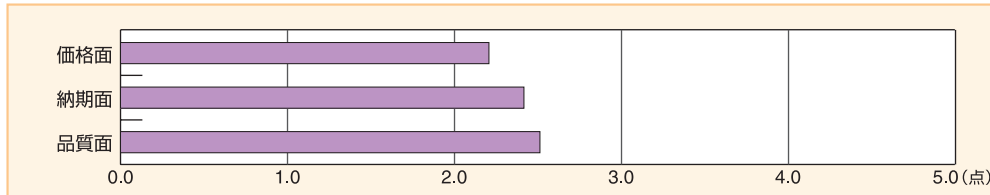
弊社工場では2009年6月に蓄熱式脱臭装置を導入しました。これにより、VOC排出濃度は基準値を大きく下回りました。



お客さま満足度

カンボウプラスは弊社工場で製造した商品について、お客さま満足度調査を実施いたしました。お客さまとのコミュニケーションを充実させ、品質改善など満足度の向上に全員で取り組んでまいります。

(お客さま満足度調査結果<5点満点>)



環境活動参加者の表彰

カンボウプラスは環境意識の向上を目的として社内で「チーム・マイナス6%」のチーム員を募集し、個々に取り組める活動を推進してまいりました。また、活動量を把握する手段として社内エコポイントを設定し、優秀者を表彰しています。

本社・東京支店優良者 総務部経理課 西 俊行

私は、社内の「チーム・マイナス6%」活動に参加しました。主に参加した活動は、毎月第1月曜日に行っている本社ビル周辺の清掃活動でした。

ゴミの大半がタバコの吸殻や空き箱で、1箇所に集中して捨ててあることが多かったです。また、ゴミ箱があってもそれ自体が一杯であふれているような所も見かけました。

活動に参加して感じたことですが、ゴミを出さないことも大切ですが、出たゴミはできる限り家まで持ち帰るようにしてはどうでしょうか。

今年度は、これ以外の活動にも積極的に参加していきたいと思っています。



福井工場優良者 製造部製造技術課 牧野 幹弘

私は、社内の「チーム・マイナス6%」活動として通勤カーセーブと月に1度の工場周辺清掃活動に参加しました。

福井工場では、マイカー通勤者がほとんどで利用できる公共交通機関も少ないことから、なかなかこのような取り組みが進まないのが現状です。

私は、自宅が工場から近いこともあり、それまで自動車を使いがちだったところを意識的に自転車や徒歩にしました。その影響か、通勤時に工場周辺の道路に空き缶やゴミが落ちていることが気になり、清掃活動にも参加するようになりました。

道路にゴミを捨てるということに対して、世の中には特に気にしない方も多いようで残念なことだと思います。このような方々に気がついてもらえるよう、清掃活動を続けていきたいと思っています。



内部通報制度(カンボウヘルプライン)

カンボウプラスでは、組織的または個人による不正・違法・反倫理的行為等の防止、早期発見および是正を図り、カンボウグループの倫理・法令遵守を推進することを目的として、内部通報制度を設けております。通報者には不利益な取り扱いをしないことを規定で定めています。

企業倫理、法令遵守、環境配慮意識調査

カンボウプラスでは、社員の企業倫理、法令遵守および環境に対する意識をアンケート調査し、社員が行動指針の実践により、社会に貢献できているかを確認していきます。

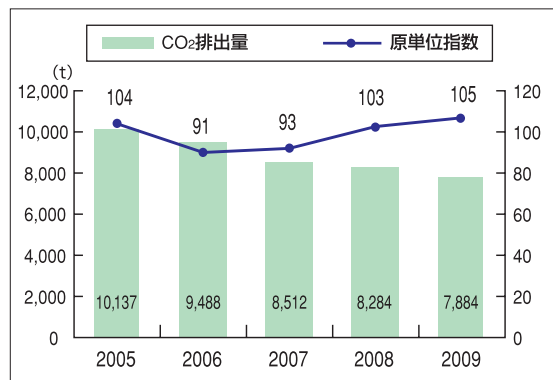
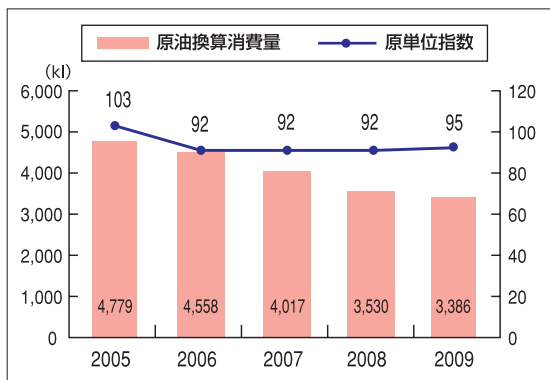
事業活動における環境負荷(弊社工場)



地球温暖化防止への取り組み

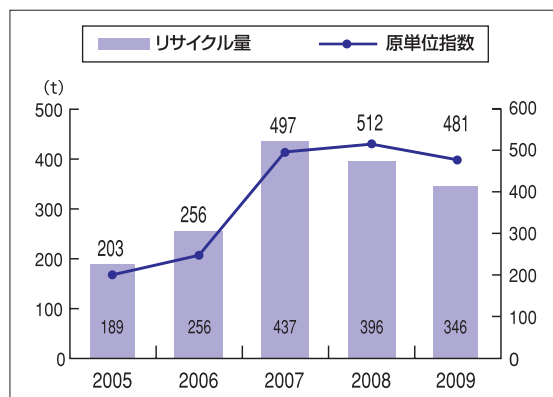
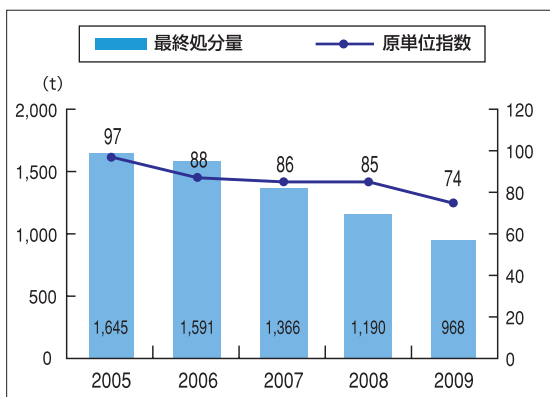
地球温暖化の原因とされている二酸化炭素の排出削減のため、生産段階でのエネルギー消費の低減に努めています。2009年度につきましては、前年度より生産量が減少したためエネルギーの使用量、CO₂排出量の絶対量は減少したものの、原単位で比較するとCO₂については2.2%増加しました。

物流分野でのCO₂削減については、お客さまの厳しい納期制約がないものについてモーダルシフトに取り組んでおり、2009年度は218tのCO₂を削減しました。



廃棄物削減への取り組み

樹脂については従来からリサイクルに取り組んでいますが、繊維についても助燃剤としてサーマルリサイクルを始めました。2009年度は21t実施しました。



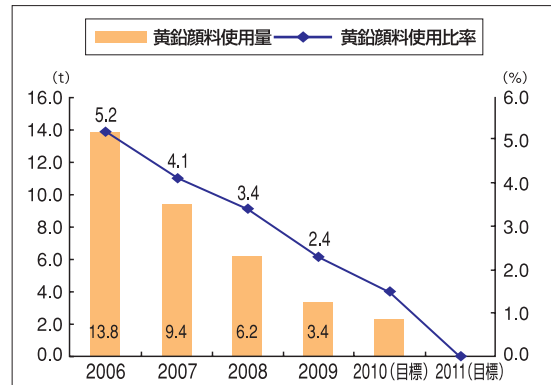
※原単位指数は2003年度を100としています

化学物質の管理

カンボプラスはPRTR法やその他国内法の遵守はもとより、国内法や海外の規制物質削減に取り組んでいます。主な削減計画として黄鉛顔料の削減を推進し、2011年度使用量ゼロを目指します。

黄鉛顔料の削減

黄鉛顔料には、鉛や六価クロムまたその化合物が含まれており、2011年度使用量ゼロを目標に削減を進めております。2009年度は、全顔料の使用量の2.5%以下まで削減しました。



PRTR法への対応

カンボプラスは、PRTR法の定める対象物質を使用しております。

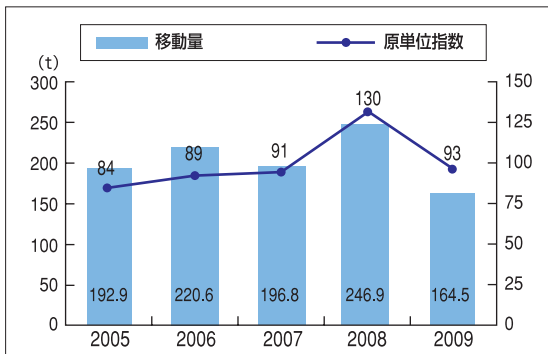
これらは法律の定めにより取扱量・排出量・移動量の調査、届け出を実施しています。

2009年度の届出状況は右表のようになりました。

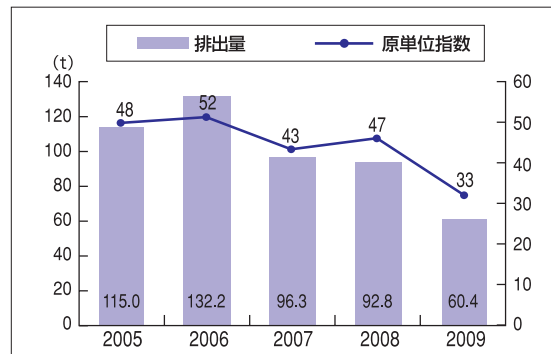
(単位:t)

化学物質名	取扱量	排出量	移動量
アジピン酸ビス	65.8	1.4	9.6
アンチモンおよびその化合物	109.8	—	15.0
エチルベンゼン	51.8	9.5	15.0
キシレン	84.5	15.0	22.0
六価クロム化合物	0.5	—	0.04
N,N-ジメチルホルムアミド	7.2	3.5	0.25
トルエン	35.9	19.0	4.5
鉛およびその化合物	1.2	—	0.15
フタル酸ビス	713.0	12.0	98.0
合計	1069.7	60.4	164.5

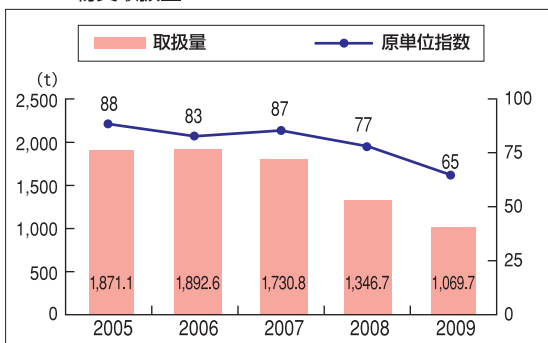
PRTR物質移動量



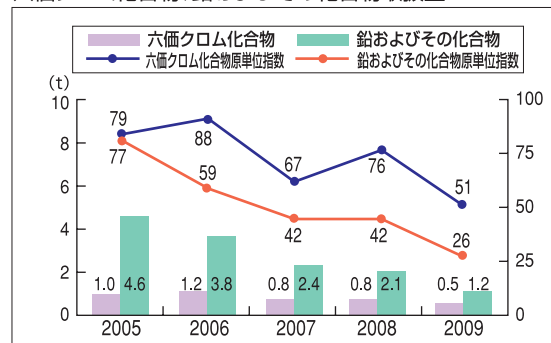
PRTR物質排出量



PRTR物質取扱量



六価クロム化合物、鉛およびその化合物取扱量



※原単位指数は2003年度を100としています

従業員への教育

2009年度は、「能力開発の充実」を重点課題とした経営方針を基に、より深い知識と技術の習得および長期的な人材育成を目標とし、取り組んでまいりました。

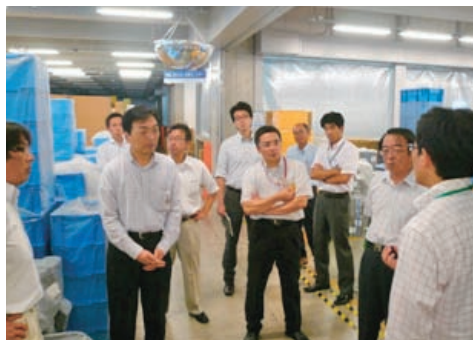
(実施した研修)

実施日	研修名	研修内容
2009年4月	新入社員研修	会社規則、安全衛生、パソコン研修等
5月	技術研修会	熱可塑性ポリウレタンエラストマーの用途展開
6月	カンボウカレッジ投資教育	401kの投資教育
7月	カンボウカレッジ中級講座	社外研修「甘えを捨てよう!中堅社員」
	監督職研修	ケービー産業の技術・製品紹介。監督職の心得
8月	営業職研修	在庫システム、物流システムの工場見学…トラスコ中山(株)
9月	カンボウカレッジ(工場見学)	「環境共生」をテーマにした展示場見学…大和ハウス(株)
10月	管理職研修	全社品質改善活動「Qfinity」について
11月	技術研修会	電子線照射による樹脂の改質について
12月	事務職研修(本社)	今年度(2009年4月)の法改正について
2010年1月	営業職研修(グループ会社含む)	会社(販売先)の経営状態をいかに把握するか
2月	昇級者社内研修	期待する役割、CSR・環境について
	昇級者社外研修	「管理職!あなたが変われば会社が変わる」
	新入社員フォローアップ研修	役割・規則の説明、目標設定について
3月	考課者訓練	トータル人事制度の概要、人事考課演習
	カンボウカレッジ投資教育	401kの投資教育

(技術職研修)



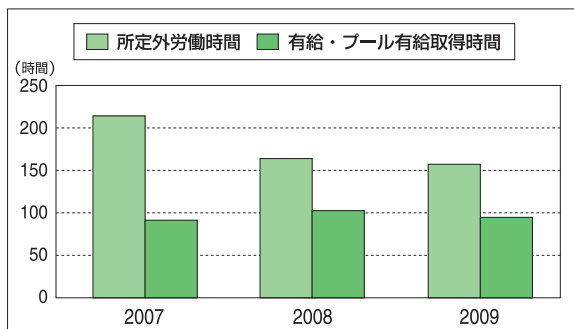
(営業職研修)



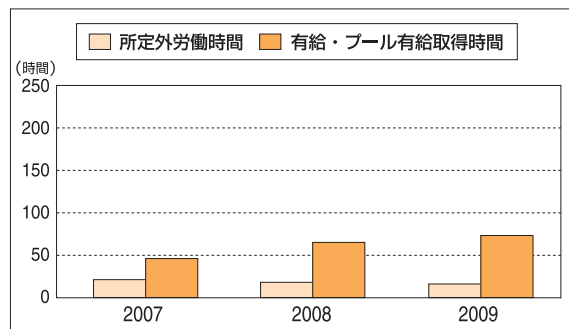
ワークライフバランス

仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を目的に、時間外労働時間の削減、ノー残業デー(オール定時日)の設定、誕生日有給休暇、一斉有給休暇の取得に取り組んでまいりました。

(福井工場)



(本社・東京支店)



労働安全衛生

従業員全員が安心して働ける職場づくりのため、安全と健康の確保および環境の改善活動を労使合同で定期的に行っています。

主な活動	事業所
安全衛生委員会の実施	本社、福井工場
安全パトロールの実施と是正	本社、福井工場
定期健診、生活習慣病予防検診、健康相談会の実施	全事業所
作業環境測定の実施	福井工場
「AEDの使い方」救命講習	本社
新型インフルエンザ対策でのマスク、うがい、手洗いの実施	全事業所
新入社員への安全教育の実施	福井工場
冷風装置等作業環境の改善	福井工場

(救命講習)



(安全パトロール)



新型インフルエンザ対策

新型インフルエンザのWHOの警戒レベルが「フェーズ5」に引き上げられたのを機に、弊社およびグループ会社を含めた対策委員会を設置し、従業員への予防対策を実施いたしました。また、マスク、消毒用アルコール、うがい薬の配布および設置、備蓄を実施いたしました。

(対策の推移)

日付	対策
平成21年4月28日	新型インフルエンザQ&Aを配布
4月30日	大型連休での海外旅行者を把握
5月8日	新型インフルエンザ対策委員会を設置 対処方針、対策の説明を実施
5月13日	新型インフルエンザ対策会議を開催 「フェーズ6」となった場合の処置を決定
5月15日	訪問・来訪者記録の開始 消毒用アルコールの設置
5月18日	感染が確認された場合の対処方法を指示
5月27日	海外出張等の一部対策を解除
平成22年5月31日	対策解除

(備蓄品)



(消毒用アルコールの設置)



CSR自己評価(100点満点)

関係	取り組み	自己評価指標	2008年度	2009年度
お客さま 19点/25点	製品安全推進	品質事故・重大クレーム件数	2点	4点
		自主点検による事故防止・クレームの予防措置件数	5点	5点
	環境対応製品上梓	新規上梓した環境対応製品数	2点	4点
	行動指針実践	当社社員の行動調査アンケート結果	4点	4点
	製品情報提供	製品情報(MSDS・含有量調査等)提供件数	2点	2点
従業員 19点/30点	労働安全推進	労災発生件数	1点	4点
		作業環境是正件数/改善提案総数	5点	5点
	障がい者雇用推進	障がい者雇用人数	3点	3点
	CSR・環境教育訓練	社内研修出席者延べ人数	2点	1点
	働きやすい職場づくり	雇用延長者人数	5点	5点
育児・介護休暇取得人数		1点	1点	
社会 13点/15点	法令遵守、倫理意識向上	社内意識調査結果	3点	3点
	工場周辺社会との調和	苦情受付件数	5点	5点
	貢献活動への参画	活動へ参画した件数	5点	5点
環境 20点/30点	二酸化炭素排出削減	二酸化炭素排出量対前年削減率	5点	5点
	廃棄物削減	廃棄物処分量原単位対前年削減率	1点	5点
	省エネルギー推進	エネルギー原単位対前年削減率	1点	1点
	グリーン調達推進	Aランクお取引先数/全お取引先数	5点	5点
	環境対応製品販売促進	環境対応製品売上高/総売上高	1点	1点
	環境配慮意識向上	社内意識調査結果平均点	3点	3点
CSR自己評価合計			61点	71点

カンボウプラス株式会社

〒541-0054

大阪市中央区南本町1-8-14 堺筋本町ビル

TEL 06-6262-1277 FAX 06-6262-9419

URL <http://www.kanbo.co.jp/>